

平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月29日

上場会社名 株式会社KSK
 コード番号 9687 URL <http://www.ksk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月4日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 河村 具美
 (氏名) 牧野 信之

TEL 042-378-1100

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	3,226	2.3	174	△24.3	186	△23.4	120	△21.9
28年3月期第1四半期	3,153	4.2	230	253.7	244	228.8	154	238.7

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 130百万円 (△31.6%) 28年3月期第1四半期 191百万円 (156.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第1四半期	19.38	19.19
28年3月期第1四半期	24.63	24.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
29年3月期第1四半期	12,137	8,823	72.3	1,412.11
28年3月期	12,500	8,909	70.9	1,426.08

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 8,770百万円 28年3月期 8,856百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	37.00	37.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	14,560	5.1	1,160	3.1	1,195	2.4	765	8.4

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	7,636,368 株	28年3月期	7,636,368 株
29年3月期1Q	1,425,663 株	28年3月期	1,425,663 株
29年3月期1Q	6,210,705 株	28年3月期1Q	6,259,057 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、金融緩和等の各種政策を背景に企業収益や雇用環境の改善が続いておりましたが、株価の下落や為替の不安定な動きにより、企業の景況感や個人消費については先行が不透明な状況となっております。

当社グループが属する情報サービス産業界においては、クラウドを使ったシステム構築の増加やA I（人工知能）を活用した新たな技術の開発や実用化に向けた取り組みが始まるなど、新たな市場の創出が期待されております。また、各企業の事業に直結するシステム投資は、企業業績の改善により引き続き堅調に推移してまいりました。

このような環境の中で当社グループでは、経験者の採用が厳しいことから新卒者の採用数を増すとともに、研修期間を延長して人間力や技術力の向上を図りました。また、将来有望な分野への技術者の戦略的投入や、既存のパッケージソフトウェアの全面的な改良に着手するなど、今後の成長に向けた施策に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,226百万円で73百万円の増加（前年同四半期比2.3%増）、営業利益は174百万円で56百万円の減少（前年同四半期比24.3%減）、経常利益は186百万円で57百万円の減少（前年同四半期比23.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は120百万円で33百万円の減少（前年同四半期比21.9%減）となりました。

当第1四半期累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

(イ) システムコア事業

半導体設計業務や組込ソフトウェア業務では車載関連の業務比率が増加しております。一方で半導体試験装置開発業務の受注が減少していることなどから、売上高は643百万円（前年同期比1.1%増）、セグメント利益は136百万円（前年同期比8.9%減）となりました。

(ロ) I Tソリューション事業

ソフトウェア開発部門での大型システム開発プロジェクトが業績を牽引したものの、将来に向けて新卒者による人員増強や住宅建設業者向けのパッケージソフトの開発に着手したことなどから、売上高は875百万円（前年同期比0.3%増）、セグメント利益は86百万円（前年同期比23.8%減）となりました。

(ハ) ネットワークサービス事業

技術者シフトに伴う一時的な稼働率の低下は解消し、旺盛な需要に対して中途採用も含めた技術者の投入を積極的に行ったことなどから、売上高は1,707百万円（前年同期比3.9%増）、セグメント利益は296百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は7,665百万円となり、前連結会計年度末に比べ844百万円減少いたしました。これは主に、仕掛品が176百万円増加した一方で、現金及び預金が271百万円、受取手形及び売掛金が543百万円、有価証券が200百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は4,472百万円となり、前連結会計年度末に比べ482百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が510百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は12,137百万円となり、前連結会計年度末に比べ362百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,957百万円となり、前連結会計年度末に比べ281百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金が60百万円、その他流動負債に含まれる預り金が189百万円それぞれ増加した一方で、未払法人税等が219百万円、賞与引当金が428百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。固定負債は1,356百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円増加いたしました。これは主に退職給付に係る負債が4百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は3,314百万円となり、前連結会計年度末に比べ276百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は8,823百万円となり、前連結会計年度末に比べ85百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により120百万円、その他有価証券評価差額金が4百万円増加した一方で、利益剰余金が配当の支払により217百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月2日の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積り実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更に伴う影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,076	3,804
受取手形及び売掛金	2,963	2,420
有価証券	800	599
商品	-	1
仕掛品	102	278
原材料及び貯蔵品	0	0
その他	572	565
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	8,510	7,665
固定資産		
有形固定資産	632	624
無形固定資産	137	127
投資その他の資産		
投資有価証券	2,365	2,875
その他	881	871
貸倒引当金	△27	△27
投資その他の資産合計	3,219	3,720
固定資産合計	3,989	4,472
資産合計	12,500	12,137
負債の部		
流動負債		
買掛金	163	153
短期借入金	40	100
未払法人税等	298	78
賞与引当金	896	467
工事損失引当金	1	0
その他	839	1,156
流動負債合計	2,239	1,957
固定負債		
退職給付に係る負債	1,083	1,087
資産除去債務	43	44
その他	224	224
固定負債合計	1,352	1,356
負債合計	3,591	3,314
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,448	1,448
資本剰余金	1,636	1,636
利益剰余金	6,552	6,455
自己株式	△771	△771
株主資本合計	8,867	8,770
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	176	180
退職給付に係る調整累計額	△186	△180
その他の包括利益累計額合計	△10	△0
新株予約権	48	49
非支配株主持分	3	4
純資産合計	8,909	8,823
負債純資産合計	12,500	12,137

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	3,153	3,226
売上原価	2,521	2,606
売上総利益	631	620
販売費及び一般管理費	401	445
営業利益	230	174
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	8	4
その他	1	3
営業外収益合計	13	13
営業外費用		
支払利息	0	0
保険解約損	-	0
その他	0	-
営業外費用合計	0	0
経常利益	244	186
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	-	3
特別損失合計	0	3
税金等調整前四半期純利益	243	182
法人税等	89	62
四半期純利益	154	120
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	154	120

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	154	120
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33	4
退職給付に係る調整額	3	6
その他の包括利益合計	37	10
四半期包括利益	191	130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	191	130
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年6月30日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	637	872	1,643	3,153
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1	1	2
計	637	874	1,644	3,156
セグメント利益	150	113	274	538

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	538
セグメント間取引消去	25
全社費用(注)	△332
四半期連結損益計算書の営業利益	230

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年6月30日まで）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	643	875	1,707	3,226
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	1	0	1
計	643	876	1,707	3,228
セグメント利益	136	86	296	519

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	519
セグメント間取引消去	25
全社費用（注）	△370
四半期連結損益計算書の営業利益	174

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。